

人との触れ合いで、人は成長できる

◎子どもたちのための人権集会

笑いを交えながら語りかけるなだぎ氏



10月24日、広見中学校体育館で「子どもたちのための人権集会」が行われました。今年、コメディアンのなだぎ武氏を講師に迎え、「サナギ」と題して講演を実施しました。軽快なトークで、会場を和やかな雰囲気包み込んだなだぎ氏は、自身が受けたいじめ体験やひきこもり生活など、これまで歩んできた人生、そして、そこから学んだことを語っていました。

また、なだぎ氏は「好きなことや夢を口に出して人に伝えることで、勇気になる」と話し、「人との触れ合いを大切にしてほしい」と、生徒たちに訴えかけていました。

憧れの戦国武将に近づけるかな？

◎きほく鬼ツズふるさと探検2016

飾り付けに没頭する子どもたち



「きほく鬼ツズふるさと探検2016」は10月22日、中央公民館で行われ、町内の小学生11人が参加しました。

第2回目となる今回は、段ボールを使った甲冑作りに挑戦。甲冑の役割や歴史について学んだあと、さまざまなパーツを組み合わせて、兜や鎧を組み立てていきました。参加した子どもたちは、所々大人の手を借りながら、一つ一つ丁寧に作り上げました。

全部のパーツが組み合わさると、次はオリジナルの飾り付けに挑戦。参加した子どもたちは、世界に一つだけの甲冑作りに、心を躍らせていました。

華やかな舞台で文化の秋を彩る

◎第12回きほく芸能まつり

「清吟堂吟友会」による詩吟と舞



「第12回きほく芸能まつり」は11月5日、広見体育センターで行われました。

「パワフルカラフル鬼北の芸能」のテーマのもと、「大正琴若菜会」の温かな演奏で幕を開けた芸能まつり。今年は、町内から13団体が参加し、日舞、詩吟、ダンスやカラオケなど、さまざまな演目を披露しました。

観客たちをそれぞれの世界へと誘い、堂々とした演技で舞台を飾る出演者たち。次々と繰り広げられる趣向を凝らしたステージが披露されるたびに、訪れた人たちは盛大な拍手を送っていました。

親子で跳んで踊って、国体に触れる

◎えがおダンス講習会・トランポリン体験会

親子で「えがおダンス」に挑戦



11月3日、日吉農林業者トレーニングセンターで、近永小学校5年生と、その保護者を対象とした「えがおダンス講習会・トランポリン体験会」が行われました。

えひめ国体のテーマソングに合わせてつくられた「えがおダンス」と、えひめ国体のデモスポになっっている「トランポリン」に触れようと、この日は児童54人と、保護者34人が参加しました。

会場では、保護者も童心に返り、ダンスの振り付けや、トランポリンに挑戦。子どもたちと一緒に終始笑顔を浮かべながら、体を動かしていました。